

平成30年第12回大田市教育委員会定例会会議録

平成30年11月26日午後2時00分、大田市教育委員会事務局において、第12回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成30年11月26日 午後2時00分

閉 会 平成30年11月26日 午後4時10分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

1名

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 和田学校教育室長 和田学校教育室主査

田村学校給食センター長 霊山社会教育課長 遠藤石見银山課長

後藤人権推進課長 西村山村留学センター長 松本総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第11回の会議録について

教 育 長 第11回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

竹下委員 13ページ上から2行目川島委員となっておりますが、私の発言だと思います。また、同ページ上から9行目の私の発言ですが、「折角なら大田市でもそういった物が有って、それでの交流があった方が良いのではと思いますが。」となっておりますが、「折角なら大田市でもそういった賞があれば、受賞者同士での交流が出来てよいのではないかと思いますので、発言させていただきました。」と訂正してください。

教 育 長 他にございますか。

梅枝委員 9ページの私の発言の中で「教員さんとは他にサポーターが1人入る事で、その授業がすごく生きるということを目の当たりにしましたので、」を「TTの授業や、支援員の方の入られた授業の指導効果がとても高いという事を目の当たりにしましたので、」に訂正をお願いします。

福間委員 9ページ上から6行目「バードル」ではなく「ハードル」です。

梶 委 員 7ページ、9ページ私の名前の字を修正して下さい。

竹下委員 9ページの私の発言の中に「リファレンス機能の強化に向けて、」とありますが、「レファレンス機能の強化に向けて、」に修正をお願いします。

教 育 長 その他訂正箇所等ありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 修正点を修正のうえで、第11回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 では、経過報告に入ります。先月は10月29日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。

30日校長会から来年度の予算要求に向けての要望がありました。また地域との意見交換会を久屋小学校で行いました。

31日事務局会議、また指定管理の選定委員会が行われました。

11月1日中学校の駅伝大会、児童虐待防止キャンペーンが行わ

れました。

2日伝建協役員会・予算要望が東京で行われましたので、参加いたしました。同日ふるさと文芸賞の最終審査会、地域との意見交換会を川合で行いました。

3日大田市文化祭が市民会館を中心に行われした。また同日しまね教育の日フォーラムが行われましたので、私も参加しました。

4日第2回まち並み討論集会を行いました。

5日石見銀山協働フォーラム、学校組織運営に関する研修会が行われました。また朝波小で地域との意見交換会を開催しました。

6日政策企画会議が行われました。また地域との意見交換会を久手のまちづくりセンターで開催しました。

7日小中連合音楽会が開催され、私と部長が1日参加しました。

8日校長会が行われました。同日松江市で給食の展示試食会が行われましたので、参加をしました。また、地域との意見交換会を大田のまちづくりセンターで開催しました。

9日石見地区新人卓球大会が総合体育館で開催されました。

10日伝建協の中四国ブロック研修会が行われ石見銀山課が参加しました。

11日大田市短歌大会、租税作品合同表彰式が開催されましたので、それぞれ私が参加しました。

13日東京で全史協臨時大会と、国会議員に対し来年度の予算要望が行われましたので、私が参加しました。

14日三瓶自然館運営委員会が行われました。同日島根県公立中学校事務研究大会が開催されました。

15日総合体育館で石見地区中学校新人バレーボール大会が開催されました。同日浜田教育事務所管内学力育成会議が開催されました。また地域との意見交換会を温泉津で開催しました。

16、17日世界遺産学習全国サミットinむなかたということで、宗像市で開催されました。参加者も多く立派な会議でした。また17、18日山村留学センターで収穫祭が行われ、教育部長が参加しました。

19日市公連定例会を開催しました。また行財政改革特別委員会が開催されました。同日大田高校でマイクロソフトのテクノロジー講演会が開催されました。

20日政策企画会議が行われました。また地域との意見交換会を

仁摩で開催しました。意見交換会はこれで最後となりました。

21、22日姫路市で世界遺産サミットが行われ、市長と石見銀山課が参加しました。

23日難波利三ふるさと文芸賞授賞式を仁摩図書館で開催しました。難波先生にもお越し頂き、受賞式を行いました。

26日、本日ですが定例教育委員会です。

予定ですが、27日教育長と生徒の懇談会を大田西中で行います。これは初めての取り組みで、これまで学力向上に向けての国県のテストを見る中で、学校として対策を色々取って来ているのですが、なかなか効果が表れないので、学校の目線と子供たちが求めているものにズレがあるのかもしれないということで、学校の先生では本音で話せないかもしれないので、私と各中学校の生徒4、5人を対象に、生徒とざっくばらんに勉強や部活の事を懇談会形式で行うこととしており、内容が良かったとなれば、小学校6年生を対象に実施できればと思っています。西中を皮切りに12月21日までに、中学校の授業が終わった4時から5時に間の1時間で実施することとしています。

28、29日両日教職員人事異動の校長ヒアリングを行います。また29日には新教育委員の辞令交付式が市長室で行われます。

30日仁摩図書館で消防訓練が開催される予定です。

教育長 経過報告は以上です。質問等ありますか。

福間委員 12月1日の中学校駅伝大会ですが、県中学校駅伝大会です。

教育長 他にありますか。

委員 (なし)

教育長 では経過報告については以上で承認ということに致します。

(3) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。議題43号学校規模・配置について(意見交換会報告・課題検討)について総務課からお願いします。

森本課長 10月2日を皮切りに11月20日まで18会場でそれぞれ意見交換会を開催しました。その概要につきましては報告書ということで資料を付けさせて頂いています。出席状況につきましては、多いところ、少ないところがありましたが、延297名の方に参加頂きました。それに対し事務局が延122名ということで、事務局の割合が高かったと感じたところです。それぞれの会場での意

見につきましては、報告書に記載してありますのでご承知頂いていると思います。今日はこの中で委員の皆様がお気づきになった事や、気になる事について項目毎に意見を出して頂き、意見を深めていただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。

福間委員 事務局で参加していましたが、出席者に記載のないものがあります。

教育長 出席者につきましては、後から確認の上修正させていただきます。福間委員さんから順に意見をお願いします。

福間委員 こうした保護者の皆さんや地域住民の方を招集して意見交換をする会を何回か見てきましたが、顔ぶれがいつも同じ方々ばかりで、目新しさがあまり感じられませんでした。いま現実に子どもを抱え毎日悪戦苦闘しながら子育てをしておられる方とか、これから大田市の教育に関わっていかれる若い方に参加して頂いて意見を聞きたかった。

そういった中ではありましたが志学、大森では乳飲み子を抱えた参加者を見ることができ、これからの地元の学校がどうなるのか、自分の子どもが関わっていく大田市の教育についての意見を述べられる姿を見ることができました。こうした若い方々の参加を得て教育懇談会が開かれるといいなと思いました。

また、以前開催された教育総合会議の時にも提案させていただきましたが、今まさに教育を受けている子ども達が大田市の教育をどう考えているのかを、「連合生徒会」とか「小中学生市民会議」とか「子どもと市長懇談会」等開いて聞いていく形式を取るなど会の運営の工夫も大事だなと感じました。学力向上についてですが、「学力・学力と詰め込み教育が全面に出過ぎていて、子ども達の自由な発想を伸ばす気付きの教育の推進、物や事を使える教育の推進が必要」と皆さん同じ考えをしておられると感じました。また大田市は自然環境が豊かですので、その中で自らの身体活動を通した体験の中から、学び方を会得して家庭学習だとか、個人学習に結びつける方向にしてはどうかという気がいたしました。

次に修学旅行についても意見が出ていましたが、修学旅行を見直す時期に来てはいないかと思います。修学旅行は生徒たちの学校生活の中での思い出に一番印象に残るものであり、学校教育のなかでも人間関係づくりや集団的訓練の教育効果を期待できるものですが、修学旅行の目的を学習に特化させる事が少ないように思

います。今はテーマパークをメインと考える嗜好になっていないかと懸念しています。自分たちがどう学んでいけるかという考えられる形にして欲しいと思います。

またインターネットを十分に使える環境にあるので、小規模校、大規模校同時に学んでいけるテレビ画面での映像を通じて相手の顔を見ながら話し合い、学習活動を進めていけるようになればいいなと感じました。

前例がないからと否定的になりがちな話をよく聞きます。前例がなければ作ればいい、金が無ければ作ればいいという考えの基に、大田市が先行しての教育システム作りができないものではないでしょうか。教育システムでもう一つ。大田市には北三瓶や志学のように小中学生が一つの校舎で学んでいる特色ある教育システムを組んでいる学校が存在しています。これを生かして9年間教育のカリキュラムを組んでの教育を目指してはどうかと考えました。

部活動についてです。部活動は中学校教育における教育効果は大きなものがあります。それだからこそこの度の「これからの大田市の教育の推進について」の課題に挙げられたと思いますが、部活動が選択肢にない事を課題にすることは疑問点があると感じました。これが優先課題だとすれば小規模校は残れない。

行政側としては、もし課題として取り上げるとしたら部活動選択というよりも基礎学力の向上と同様に基礎体力の向上は小規模校として如何にと考えるべきではないでしょうか。大きな学校と小さな学校が体力的に見てどうであるのかと捉えるべきではないかと思いました。その中で志学地区の話し合いで「二つしかない部活動だけでも、その中で子ども達をどう生かしていくのか、選択肢のない中でその競技に対してどう向き合うのか。我慢する力、嫌なことから逃げない力が付いてきている」という話を聞かせていただきました。横田町のホッケー種目のように大田市の特色を生かした種目を選定し市全体で取り組んで体力向上を目指すスタイルを大田市でも取り組んでいければどうかとも考えました。

その他についてですが、印象に残ったのは子どもより大人が地域の事を理解していないという意見でした。子どもは一生懸命地域学習等に取り組んでいるのだけれども、親は地域の事を以外と理解していない。あるいはPTA活動への参加も積極性に欠けるといった意見がありました。この姿からやはり親学の推進が必要か

なと思いました。子を持つ親が学びの場に出かけていく場づくりの推進。学習の習慣化は学校ばかりではなく家庭教育が基本だと思えます。その家庭教育で目指す物とは一体どんな物であるか。良い環境に子ども、人は育つという意味合いでの親学の推進をぜひ進めていただきたいと思います。

今ひとつスポーツの面から。良い環境に人は育つという観点から、スポーツ関係の現状を見ると、陸上競技場や野球、サッカーができる。室内競技にしても水泳をするにしても将来ある子ども達や若者にとって大田市のスポーツ施設は魅力あるものか。子どもが、若い人達がこの競技場で競技をしたいとか、素晴らしい選手、素晴らしい競技技術を見たいという場面設定が現状ではつukれない。大田市のスポーツ施設は全てが中途半端な施設環境にある。大きな経済負担になるが、何か一つでもきちんと整った施設を長期計画の基に設置していただきたいと思います。今現在レスリングや柔道の種目では大田市出身の選手が世界に通用する力を発揮し活躍しています。しかし、全て大田市の外に出て活躍している選手達です。地元大田市の中で育成し、育っていく姿がなかなか見られない。そこには色々な原因があると感じています。二巡目になる国体開催が決まりつつあるなかで、大田市としてどのように取り組んでいくかといった事を考える大事な時期に来ていると思います。

梅枝委員

この意見交換会には鳥井、大田、温泉津と3会場に参加させていただきました。鳥井では色々な意見が出ていたのですが、保育士の不足によって地元の保育園での受入れができず、地域外の保育園に行っているの、そのまま小中学校も校区外の学校へ流れるといった動きが有るのが気になるといった意見がありました。地域では、子ども達を守ろうといった意識を沢山持っておられるのに、子ども達が学校にいないという事によって、それが満たされないジレンマと言うものを感じました。

大田地区での感想は、先ず参加者が少ないことです。統合されるとか、学校が無くなるといった危機感が無い大きな学校ですので、そういった事になるのかもしれませんが、大田地区だからこそ大田市全体の教育を引っ張っていくといった意識を持ってもらいたいと感じました。その為には、人が集まる努力、工夫が必要であると思います。大田ではなかったかもしれませんが、参加された

方の中に「何年生で何を勉強するのか決まっていますか」といった質問をされた方がいて、そもそも学習指導要領といったものが有って、全国どの学校も何年生でこういう事を学ばせたい、学ぶように先生方、学校が努力しているといった事を知らない保護者もおられるのかなと思いました。児童生徒の人数の増減や統合も大切ですが、学習指導要領に即して実践されている日々の教育活動のことをしっかり伝えることも大切であると感じました。

温泉津は既に小学校も中学校も統合されています。私はその統合の経緯は存じませんが、色んな反対意見があった中、最終的に統合するという結論を出し、皆さんが統合に向けて力を合わせて行こうという形で意見を述べられていたのが印象に残りました。エアコンの設置などお金が沢山かかることが出てくるけれども、なかなか財源がないといった状況の中で、自分たちはそういった事も考えて、数を減らして統合することに頑張ったのに、それ以降統合の計画は進んでいないではないか、学校の数が減らないからやっぱりお金がかかるのに、財源に見合った討論がちゃんとされているのかといった厳しい意見も出ていました。前回は〇〇小学校と〇〇小学校が一緒になって、といったところから話があったと思いますが、それで統合された所もあれば、統合されなかった所も有って、その後の説明が上手く伝わっていない方たちもおられたと感じました。全体的には福間委員さんも言われた様に、もっともっと参加者が教育関係の方だけではなくて、乳飲み子を抱えた方から、学校に行くお孫さんを持っておられる方等、色々な方が参加され、色々な意見が集まるといいなと感じました。

梶 委員

学校再編に関わってまず1つ目は小規模校のメリットとデメリットについて、色々な地区で意見が出されていたので拾い出してみました。1ページ志学での「小規模校の生徒はやはりコミュニケーション能力が育たない」これはデメリットですが、しかし「そういった事を伸ばせる教育をしたら良い」とメリットに変えたいといったご意見だったと思います。あちらこちらの意見を拾いながらいきたいと思います。20ページ鳥井ですが、「3、4年と5、6年が複式学級で教員も少ないが、それが逆に子ども同士が話し合う場を作っている」ということで、これは小規模校のメリットだと思います。複式の渡りの授業を通して、子ども達が話し合いを通して授業を進めていることが分かります。3ページ池

田ですが、「小規模学校の良さはある。(子どもが一人ひとり成長している。)」ということで、一人ひとり充実した指導ができてい
るのではないかと思います。こういった意見でメリットが分かり
ました。反対にデメリットの意見として2ページ志学ですが「人
数が少ないことでできないことが沢山ある、子どものやりたいこ
とをさせてやりたいと思う親の気持ちも分かって欲しい」、「中学
校に通っている子どもが『友達欲しい』と言っている。一中に
通っている友達と話をし、『友達沢山いてうらやましい』とも
言っている」といったものがあります。こいつ意見があちこち
で出ていて、生の意見が聞けて良かったと思いました。それと統
合が済んだ学校の意見として、7ページの高山小学校区の大代地
区ですが、とても心に残っているのですが、「20年前は統合なん
かしくても良いと活動していたが、今は統合して良かったと思
っている。」という意見です。子ども達が少なくなって地域とし
てもう限界だからだということではないでしょうか。また「学校が
無くなったことで、地域は諦めてしまっている」とか、「子どもが
Uターンして孫を連れて帰ってきた。学校の事を考えると不安が
一杯。魅力的な学校についての夢が描けないのが実情」、「学校が
無くなった事で、今は集落(地域)を維持することで精一杯」とか
「大代の運動会には市外から多数参加される。住めないが、帰っ
て来たい田舎にはなっている。地域の魅力を分かっている、生
活ができない」、「地域が限界であり、現状では子ども、学校の支
援はできない」といった意見もありました。学校の存続の前に、
社会だとか中山間地域の現状を変えないと、どうにもならないと
いった気がしました。奥部では皆同じ様な状況を抱えておられる
気がします。とは言っても、私たちは目の前の子どもたちの学校
をどうするかを考えていかなければならない状況にあるので、そ
のことで2つまた違った意見がありましたので、2ページ志学で
すが先にデメリットのところを話しましたが、「人数が少ない
ことでできないことが沢山あると思う。」という意見は、学校を統
合して、大きな集団の中で子どもたちを生活させて欲しいとい
った思い。下の行に書いてある、友達が沢山欲しいというのは大規
模校に行きたいという思いで、統合再編を望んでいる方のご意見
だと思います。もう一つは4ページの池田地区では、「中山間地域
が不利な地域となるような統廃合はやめて欲しい」、「地域から小

学校がなくなれば、若い人は減少する」といった意見は統合に消極的な意見だと思えます。小規模校のメリット、デメリット、統合についての地域の方の考えが、あちこちから抜き出してみても、ここら辺が今後考えなければならない課題だと思います。その先をどうこうとは未だ言えませんが、気にかかった事を拾ってみました。

仲野委員

まず感想として、参加して良かったと思えました。何が良かったかというと、4ヶ所行かせていただきましたが、それぞれ議論する内容が違っていい、地域性が議論の中に現れていた点です。報告を読んで一番驚いたのは2ページ、志学のその他のところですが、「12年後に子どもが中学生になるが、見込によると中学生4人の内3人がいどこになり、人間関係やライバル心ということが育つのが心配だし不安。」というところですが、数ばかりに注目していましたが、子ども同士の間人間関係を考えて、深く立ち入った時に、その中身が本当は重要になり、考えなくてはならないのではないかと思えました。今回出てきた意見を今後どのようにまとめていくかを色々考えましたが、例えば14ページの大森のその他のところで、「小学校は地域の拠点として、中学校は選択肢が多いほうがよい」という考え方は、これから再編していくに当たっての考え方として、すごく有効だと思います。特に小学校は地域の拠点というところで考えるならば、地域が学校に何をしてあげられるかといったことも重要ですが、子どもたちも地域に対してどういうことができるのか、子どもも地域社会の一員として地域にどのように関わることができるかが重要になって来ると思えます。

36ページ仁摩のところ「地域の課題解決が本当の子どもの力になる」ということが書かれていて、地域全体がまとまっていけるのは何かと考えた時に、それぞれの地域の課題を地域社会全体で共有して、その中で学校がどういう役割を果たしていくのかでまとまっていく事ができるのではないかと、子ども達と地域が一緒になってできることを見つけて、それを皆で取り組んでいく。例えば波根で出ていましたが、防災だとかは地域にとって重要な課題になっていますので、学校と地域が一緒になって考えて行動したりといった具体的なアクションを取っていけば、自然と地域と学校の関りが深くなって行くのではないかと思えました。

竹下委員

私は最初に行ったところが五十猛だったのですが、そこでとても

大きなことを言われてびっくりしました。「将来の人口予測から考えれば、中学校は一つにまとめて通わせればよい」といった意見で、1つと言ってはなんですので、1つか2つで良いといった意見でした。大胆な意見でしたが、検討するのには値する意見だと思います。10年先、20年先を考えた場合に中学校の規模をどう考えるかという事だと思います。先程仲野委員さんも言われましたが、私も小学校と中学校は分けて考えることが大切だと思います。小学校は地域の拠点として、中学校は選択肢を増やす、或いは選択制でもいいのではないかとといった意見がありました。その辺は再編を考える上では、考えなくてはならない事だと思います。再編されたところ、温泉津の方の意見が一番大きかったのですが、最初は反対したのだけれども、結果的に再編して良かったという意見でした。今は未だそれぞれの地域性というものが有って、それぞれ違ったらという意見もあるかもしれないけれども、将来的には温泉津として一つの一体感というものになっていくのではないかとという意見でした。それを進める上で中心的な働きを示された方は、その地域の中でリーダーをしていらっしゃるなと温泉津に行って感じました。そういった方が積極的に地域の方の意見を出し合うというか、そういった課程を経て今の再編になったので、ある意味皆さんが納得されているのだと感じさせられました。それから学力に関してなのですが、意外と色々な所で競争といますか、学力の自分たちの位置を知りたいとか、学校間の順位なども公表したらいいんじゃないかといった意見が、実際子どもを持つ親御さんからとか、過去に成績表が廊下に張り出された大人の方からの意見も結構有りまして、今後学力というものが生きる力を育むもので、点数に縛られないそういった学力を今後求めていかなければならないといった事を、未だ皆さんが理解されていないのだなと思いました。そういった点ではもう少し学力観というものを話し合ったり、こういった学力観が求められるのだという事を説明していく必要が有るなと感じました。あと学習に関してなのですが、小学校でつまずきが一番多いのは中学年のところなので、中学年の夏季に学習させておけば、高学年になった時につまずきが無くなるのではないかとといった意見がありました。また土曜日の半日授業を復活して頂いて、月曜日から金曜日の間の、学校に拘束される時間を少し減らしてあげて欲しいと

いった意見も有りました。これは授業のやり方とか、絵本の読み聞かせとかに関わりがあるのですが、読み聞かせについてはただ絵本を読んで聞かせるのが大半なのですが、ある所では読み聞かせながら質問をしていくといいますか、その内容について、他の人にまた説明するといった様なやり方で、考える力を深めるといった取り組みをしているところもありました。学校の授業の中でも、こういった事も取り入れる必要があるのではないかと学力のところで感じました。

教育長

ありがとうございました。私も何点か気になるところが有ったのですが、委員さんの感想を聞かせて頂いてもっともだと思ったのは、修学旅行の見直しについてです。今の中学校の修学旅行は2泊3日で、1日はグループで自分たちの行きたい所を調べてそこを回って、もう1日はさっき言われた様にテーマパークに行くというのがパターンですが、この前宗像市に世界遺産サミットに行った時に、宗像は昨年世界遺産になったのですが、宗像の世界遺産は石見銀山以上に分かりにくい遺産だと言われていて、世界遺産の神島というのは人が立ち入れない島で、船で行って見るしかない所です。そういった分かりにくい所なので、子ども達がふるさと学習で世界遺産の勉強をし、修学旅行で東京や関西に行った時に、駅で自分たちの地域の世界遺産を通りすがりの人にPRする、修学旅行を活用して、自分たちのふるさとの自慢をする活動をしているということでした。これを聞いて、子ども達が自らふるさと学習として、地域の宣伝をしていく、自分が勉強した成果を出せるというか、そうすることで地域に対する気持ちも変わって来るので、良い取り組みだと感じました。宗像とは違う市でもそういった取り組みをされていて、それがきっかけで内気な性格の人が人前で話せるようになったといった成果もあるようです。今回の三中の子ども達もそうですが、昨年の世界遺産サミットで発表して自信が付いたという事も有ったので、そういうことで修学旅行を活用するのは大事だと思いました。

福間委員

そういった目的意識を持った修学旅行は良いのだけれど、とかく観光の意味合いを持ったプログラムを組んでしまっているのので、見直しをして、本当に子ども達が学習できるようなはっきりしたものが必要だと思います。

教育長

部活動については難しいのですが、来年の4月からの校区外の申

請がどんどん出てきています。今の時期の申請は部活動関係の理由のものがほとんどです。堺市ではいじめとか重大案件以外の校区外は一切認めていないそうです。

川島部長 大阪の堺市ですか。それは社会教育的な受け皿が有るのでそういった事ができるのではないのでしょうか。

教育長 堺市では学校の部活ではなくて、地域のクラブでの活動が主な様です。大田市でそれをやるのであれば、社会教育での受け皿をどうにかしないと、一方的にダメだと言う事は難しいと思います。並行してそういった受け皿を確保していかなければ、野球やサッカーも含めたスポーツ全般についてですが、部活を各学校で維持していくのは難しくなってくると思います。子どもはある程度の目標がないと成長できないので、学校単位の大会などもある程度変わっていかないと難しいと思います。

福間委員 社会体育で鍛えられて、参加したい人が参加できるような大会にしていくといったような形態が取れば良いと思いますが、受け皿もだし、練習環境をどこに置くのかも含めて考えていかなくてはいけないと思います。

教育長 それを考えていく時期になっていると思いますので、考えて行かなければ難しいと思います。

福間委員 大田市の種目選定について、10年程前にそういった話があったのですが、選定されませんでした。意見の中にもあるのですが、弓道については中学校に部活動が有るし、競技場も市内に有り、指導者、競技者もいるので、それを選定種目にして強化していくといった話が有ったのですが、大田市には遠的ができる競技場が無いという事で難しいなといった話が出ていました。

教育長 保育園の問題についてですが、地元には保育園があるのに定員がいっぱいで、他の地域の保育園に行かざるを得ない事で、他の地域の学校に行ってしまうといった事も有りました。行政としては全ての保育園が民営化に向かっていますので、今後増やすのであれば、認定こども園の形にして、保育園と幼稚園が一緒になった形となります。地域によっては空きも有るのですが、ニーズに合っていないという事でしょう。

川島部長 あとは放課後児童クラブの問題といった事例が多いですね。
教育長 今回は再編・合併という事を振り上げて行ってないので、色々な方向で話が出来て良かったのですが、中には再編といったことも

あるのではといった気持ちを持ちながら参加されていて、そういった話をされる方もいました。保護者の中には大きな学校に行きたいと思われている方が多いのかと思っていましたが、三瓶は違っていました。地域との繋がりが強い程そうなのかなとも思いましたが、志学の4人のうち3人がいどこになるというのは考え物です。

- 梅枝委員 温泉津では「僕は来年も男の子1人なの？」と子どもに言われて、再編に気持ちが傾いたという保護者さんがおられました。
- 教育長
福間委員 教育委員会では子ども目線で考えていかなければならないです。さっき言われた様に、子どもの一言がもの凄く大事になって来るのでしょうか。大人目線ではなく子ども目線で考えなければなりません。
- 教育長 子ども達が大田で勉強して育って、そのまま残ってくれるのが一番良いのですが、一回出たとしても故郷を気にしてもっらって、何らかの役に立ってもらいたいし、将来的にはこちらに帰って活躍して頂くことを願って、という事が大前提にあります。そのためにもどうすればいいかを考えなくてはなりません。
- 仲野委員 地域との人との触れ合いが多いほど、子どもは地域に愛着を持つと思います。お年寄り子どもたちは色々な形でコミュニケーションを取っていて、子育て世代は地域と関りが有りますが、子育てを終えた世代をどう取り込んでいくのかが重要だと思います。
- 川島部長 大代や祖式で出ていましたが、あそこは高山小に統合しており、子どもが地域にいなくなると、地域は諦めムードになるというか、夢が描けないといった意見が出ていましたが、学校をどうするかもですが、地域をどうするかがこれからはイコールになって来ると思われます。
- 福間委員 中学校を統合して区域を大きくすると、それでなくても中学生が地域の活動に参加しないと言われているのに、益々地域に根差すといった活動が難しくなってきます。
- 梅枝委員 ふるさと学習の中身も変わってきますね。自分の故郷ではない所の事を学ぶ訳ですから。
- 教育長 私は五十猛ですが、故郷は五十猛ではなくて、大田市だといった考え方をしなくてはならなくなります。
- 福間委員 親の一体感といいますか、連帯感というのが無いと、大人が大田市に不信感を抱いたり、諦めムードを持ったりする雰囲気は、ど

うしても子どもたちは感じ取って成長してしまうので、行政も含めて一体感を持ちながら、目標を持ってそれに取り組む姿がないといけないと思います。まずは大人が見せるといった意味でも私は親学が必要だと思います。

教 育 長 石見銀山学習を始めた世代が丁度成人する年になっていますが、
どうなのでしょう。

仲野委員 成人式にでもアンケートを取って、追跡してみることが必要だ
と思います。以前魅力化井戸端会議の時に、ふるさと学習をやった
のに皆出て行ってしまいがどうなのかといった意見が出ていまし
たので、検証してみるのも良いと思います。

福間委員 今度25歳同窓会といった取り組みが行われますが、とても良い
取り組みだと思います。

梶 委 員 大田高校でも今課題解決学習に取り組まれています。今までそ
ういったことは行っておられませんでした。今の子どもたちが、
大田の課題を学んで都会に出た時に、それが気になっている子ど
もとか、それがきっかけで帰って来ようかなといった子どもが出
てくると良いのですが。その生徒の意識を知りたいと思います。
とても良い取り組みだと思います。

教 育 長 教育の中で大田の課題を見つけていく事や、子どもに対して一方
的な勉強だけでなく、学んだ知識を活用できる様な訓練をするこ
とも狙いだと思います。これから先社会に出た時に、そういった
能力が必要だという事でやっています。ふるさと学習も大切ですが、
英語が授業化されたりで、授業は汲々だと思います。各地域
で出ていましたが、土曜授業を再開してはといった意見です。働
き方改革の面でなかなか難しいですが、意見としては多くありま
した。

今日の意見も色々出ましたが、年明けの市長との総合教育会議
の中で、この事についての意見交換を予定しています。その前ま
でには教育委員会サイドでまとめていきたいと思いますので、よ
ろしくお願いします。

これについてはよろしいでしょうか。

委 員 (はい)

教 育 長 ではこの件については承認ということにいたします。

教 育 長 続きまして、議題44号平成29年度教育委員会の事務に関する
点検評価について、総務課からお願いします。

森本課長

平成29年度教育委員会の事務に関する点検評価について説明させていただきます。内容については9月の定例教育委員会で説明させていただき、ご了承いただいたところですが、10月26日に外部評価委員さん3名、三瓶自然館長の酒井館長、石見銀山テレビの参与であります三宅さん、PTA連合会の太田理事に点検頂き、評価をいただいたところです。26日は午前中に大森町の宗岡家、大森小学校の視察を行って頂き、午後から事業説明を行い、確認頂きました。3名の評価につきましては資料44ページから49ページに纏めさせて頂いています。意見を中心に説明をさせていただきます。基本方針1『生き抜く力を育てる』、重点目標1「多様で豊かな体験による確かな学力」のところでは、①学力の保障と基礎的な学力の定着について「保護者の負担軽減されている点を評価する。」と評価を頂きましたが、「教職員の過重労働にならぬよう一層の配慮が必要」とご指摘もいただいております。②体験活動による確かな学力の育成については、「見る経験する事で刺激を受け心の変化を促すことができるということで、今後も継続時実施を」とご指摘頂いています。③学校図書館活用教育の推進については、「自ら調べ納得して覚えるという取り組みは継続が必要」と評価頂いていますが、一方「メディア・リテラシーを育む教育が大人にも子どもにも緊急に必要」とのご指摘も頂いています。重点目標2「自立、共生する心」中②いじめや不登校の問題への取り組みの推進と充実について、「いじめ問題の根底にある、人権・同和教育、道徳教育は地道な啓発が必要」とのご指摘を頂きました。③特別支援教育の推進と充実については、「就学前から高校までの一貫した支援に、一人ひとりの社会性が育まれることを期待。」との意見を頂きました。重点目標3たくましく健やかな体については特に指摘は有りませんでした。基本方針2『「あるもの」を活かす』重点目標1「自然、歴史、伝統・文化（レガシー）の継承」①自然・文化財の保存と継承及び②世界遺産石見銀山遺跡の保存と活用について、「地域の人のみが知っていることが多い。もっと外に向け発信してはどうか。」とご指摘を頂きました。③石見銀山学の形成と大田市史の編纂では、「『石見銀山学ことはじめ』について、丁寧な資料と考察がまとめられており、続く刊行に期待する。」と評価を頂きました。⑤地域資源を活用したふるさと教育の推進については、「活動が多岐にわたって喜ば

しい」との意見を頂きました。キャリア教育については、「三瓶自然館、青少年交流の家、石見銀山資料館、大田市役所各部などの職員との交流も興味深いと思います。」といったご提案を頂きました。重点目標2 ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）につきましては、②ESDによる学校教育の充実部分で、28年度に比べ29年度の実績値がさがっているとのことで、「一層の取り組みの強化をして欲しい」との意見を頂いています。重点目標3教育の魅力化につきましては、特に意見は頂いておりません。基本方針3『地域を支え、創る』関連重点目標1「子育て(乳幼児期)のとらえなおし」①就学前教育の充実と読書活動の推進につきまして、「一貫性のある取り組みを進めている」という点で評価を頂きました。③家庭教育支援の充実については「こここれまでの隙間を埋めながら一貫性のある取り組みが進められていることを大変評価します。」といった意見を頂いています。重点目標2「学校・家庭・地域の協働」①地域と共にある学校づくりの推進については、「小規模校では潤滑に行われているが、範囲が広く地域性も違う一中校区などでのコミュニティスクールの動きに注目したい。」といったご意見を頂いています。重点目標3「担い手の育成」③国際的な人材の育成のところでは、ALTの活用には一定の評価を頂いていますが、「校内又は市内各所の表記に英語を加えるなど、外国人や子どもだけでなく大人も自然と英語表現を目にするようにしてはどうか。」と指摘を頂きました。最後に全体の構成について、2つご意見を頂きました。「施策を相互にカバーしながら実施されているにもかかわらず、各担当課の単独の事業があてはめられており、せつかくの連携が見えづらいので、教育委員会の総合評価があると分かりやすい。」といったご意見と、「それぞれの取り組みの成果指標について巻末に集約されているが、取り組みに引き続き掲載したほうが、理解が進むと思われる。」という意見です。これにつきましては来年度の点検評価に向けて、改善の方向で検討したいと考えています。今後は、ここで承認いただけましたら、12月議会へ提出し、全員協議会で報告をさせていただきます。以上です。

教育長
福岡委員

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

取り組み・成果指標一覧のところ、期間中に3泊4日以上宿泊体験をおこなった小学校数が0です。目標値は16校となって

いますが、なかなか難しいのでしょうか。

森本課長

今年度については2泊3日を目標に実施を行って頂いていて、徐々に泊数を伸ばすようにしています。

教育長

今までは1泊2日で実施していたのを、2泊3日に伸ばして、最終的には3泊4日を目指して取り組んでいます。なかなか問題もあり、今は問題点を検証しているところです。具体的に言うと、学校の養護教諭さんが体験に付いて行くと、その間学校に養護教諭がいなくなり、学校で何かあった時の対応が出来ないということです。全員が宿泊体験に行く訳ではないので、そこをどうやってカバーしていくのかと言う事が必要になってきます。

福間委員

職員の加重負担の問題もありますね。教育的な効果は有っても、色々な問題を解決しないと実施は難しいですね。

教育長

色々な問題を解決しながら、目標の平成32年には実施校が16校になる様にしていきたいと思います。
他に何かありますか。

委員

(なし)

教育長

ではこの件については承認ということにいたします。

教育長

続きまして日程の5. その他報告事項です。平成30年度12月補正予算(教育委員会関係)についてお願いします。

森本課長

平成30年度12月補正予算について説明させていただきます。資料をご覧ください。1地域おこし協力隊員等受入れ事業についてです。2,192千円の減額です。3月末で1名退職いたしました。その補充が出来ませんでしたので、1名分の人件費を減額とさせていただきます。2教育文化振興基金の新規積立金です。ミックさんと合銀さんから600千円のご寄附を頂きました。これにつきましては、小学校図書購入に充てて欲しいとの要望です。教育振興基金に積み立てし、次年度以降活用させて頂きたいと考えています。3小中高魅力化推進事業につきましては、学校業務改善の関係の県の制度で、スクール・サポートスタッフをこの度置くこととなりました。これにつきましては、大田小学校と一中にそれぞれ既に9月より配置しており、教職員の事務補助を行って頂いています。これに係る人件費として1,716千円補正要求したものです。4井戸平左衛門賞にかかる笠岡市との交流事業につきまして500千円です。1泊2日で3月27日、28日を予定しています。5、7、8につきましては、小・中・幼

それぞれ空調機器整備のための設計業務実施に係る委託料を要求したものです。本来事業費につきましても上げさせて頂きたかったのですが、国の補助金の内示を未だ頂いておりませんので、事業費につきましても、内示が届き次第補正を上げさせて頂きたいと考えています。6 就学援助事業につきましても、前回の定例教育委員会で、見直しに含めて説明させていただきましたが、平成31年度新小学1年生の学用品費につきましても、入学前に支給する事とし、1人当たり40,600円の65名分、2,639千円を要求したものです。3 ページ社会教育施設災害復旧費、島根県西部地震災害復旧事業につきましても、市民会館の災害復旧事業に係る費用で、一般財源で見ていたものを市債充当することとした財源組替です。4 ページにつきましても同じく一般財源で見ていたものを市債に財源組替するもので、これは山村留学センターの災害復旧事業に係るものです。

教育長 ありがとうございます。エアコンの設計委託につきましても、既に発注したものを、後追いで要求したものです。本体工事につきましても、5億から6億円が全体でかかりますので、国の補助金をお願いしています。国会で審議されましたが未だ内示が無く、今月末には内示があるであろうといった状況です。今後間に合えば12月議会の最終日に提案するか、1月の臨時議会に提案することとなります。

補正の内容につきましても、よろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

教育長 続きまして第19回難波利三ふるさと文芸賞の審査結果について社会教育課からお願いします。

霊山課長 難波利三ふるさと文芸賞の最終審査会につきましても、11月2日に開催し、最終審査員7名中6名の出席で行いました。1次、2次審査を経て各3部門12点の候補の中から、資料2のとおり選考結果となりました。

教育長 ご質問等ありますか。

竹下委員 仁摩図書館で開催して頂きありがとうございました。翌日の新聞に直ぐに掲載して頂き、こういった賞が有る事の他に、仁摩図書館についても紹介頂きました。しかし、仁摩図書館では毎月色々な展示を行っていますが、展示物を掲示するパネルが有りません。

来年度に向けて整備して頂ければと思っておりますので、よろしく
お願いします。

教育長 他にありませんか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

教育長 続きましてレジメには上がっていませんが、「教育の魅力化につ
いて」という資料を配布しております。これは11月30日開催
予定の政策企画会議で説明をすることとしておりますので、事前に
教育委員の皆様にもお知らせしたいということで、今日説明をさ
せて頂くものです。総務課からお願いします。

森本課長 これの発端につきましては、市長から「教育の魅力化はどういう
ことなのか、説明を受けないと分かりにくい」との指摘を頂き、
分かり易く説明をして欲しいという要請がありましたので、こう
いった形で資料をまとめさせて頂き、説明をさせて頂こうと思っ
ているところです。

教育長 ありがとうございます。この内容で市長以下、全部長に対し説
明を行いたいと思っております。教育魅力化として活動して3年が
経過しますが、未だに教育魅力化の意味が分からないと言われる
方が多くおられますので、教育委員会だけではできないこともあ
りますので、市長部局の協力を頂く為にもこういった説明を行い、
理解して頂く必要があります。これだけでは理解をして頂けない
かもしれませんが、理解して頂くまで内容を変え、内部で理解さ
れた所で、資料を持って一般の方にも説明をして行こうと考えて
いるところです。

何か気付かれた所等ありませんか。

委員 (なし)

川島部長 市長さんが分からないと言われた裏には、市長さん自身がこうし
たり、ああしたりしたらとの思いが有るからだと思えます。そう
いったところを、皆で議論しようやといった事だと思えますので、
まとめたところです。教育の魅力化につきましては、こういう物
ですよといった示されたものが無い中で、島根県がやっています
ので、大田の魅力化とはこういう物だという事、こういう子ども
像を持って取り組み、取り組む事で何がどう変わるのか、どうい
う事を目指しているのかということ、しっかり説明させていただ
きたいとの思いから、こういった資料になりました。

教 育 長 これが最終ではありませんので、またご意見等ありましたら、次回にでも聞かせて頂きたいと思えます。

ではこの件については了承ということにいたします。

教 育 長 それでは次の市内学校におけるいじめ事案については非公開とさせていただきます。

非公開案件は関係者のみとさせていただきます。

次回の定例会は12月25日です。よろしくお願いいたします。

梅枝委員 私本日が最後の定例教育委員会となりますので、ご挨拶をさせていただきます。

《あいさつ》

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年12月25日

作成者 総務課長補佐 松本 朱美

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年12月25日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下ちとせ

委員 仲野義文

委員 梶 伸光

委員 福岡信隆

委員 木村貴子